

松原致遠 まつはら ちえん 評註講義。明治十七年十月、二十九日三重縣生れ、昭和
二十一年九月十日歿（八四一九聖）。筆名松原至文、致、致生等。明治
四十三年早稻田大學卒。在學中から雜誌『新潮』、『中央公論』等公
評論を發表。うち佛門に専心。

著譯書 『曲郷隆盛言行録』（松原至文名、編著、明治四十一年五月二

十日内外出版協會「偉人研究」）、『ドウ、シイ、エ著』近世大陸文學

史（同、譯、明治四十一年十一月二十一日昭倫社）、『小西文範』

（同、編、明治四十一年十一月四日新潮社「作文叢書」）、『大久保

利通』（編、明治四十五年五月二十一日新潮社）、『親鸞聖人全集』全

冊（遠山諦觀共編、上巻・昭和八年二月二十五日、下巻・六月五日新

潮社）、『人生要諦』の京教（昭和九年二月一日京都・教務局

布教部）、『聞くべし』（昭和十四年九月十八日厚徳書院）、『生死

超越の力』（昭和十五年十月五日兵庫・求道會出版部）、『全人の道』

（昭和十七年八月十六日日本學研究所）、『たゞ念佛こそ』（昭和十

六年十一月十日京都・丁字産書店）、『日本教學の特性』（昭和十七

年六月十五日京都・興教書院「大乘叢書」）、『日本倫理の特性』（昭

和十八年二月、二十五日日本教學研究會「日本教學研究會續道叢書」）、

『日本學』
とこの藤樹教學』（昭和十八年七月十六日大日本雄辯會講談社）

等。